



帯 広 三 条 高 校

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL：0155（37）5501
発行日 令和4年4月8日



令和3年度卒業生の1/3が国公立合格！

【主な大学合格者数】

この春の卒業生の進路が確定しました。結果、国公立大学合格者数（準大学含む）は84名となり、卒業生の1/3が国公立大学に合格したことになります。また1クラスあたりの合格者数は14人、受験者に対する合格者の割合は6割を超え、いずれも過去最高となりました。立浪年次主任は「先生方が本当に親身に指導してくれて、それに応えるように生徒たちが最後まで諦めず頑張った結果です」と話していました。今回の入試に関する総括は、次号改めてお知らせします。

令和3年度卒業生 全国合格者数一覧	
道内国公立大学	55 名
道外国立大学	19 名
道外公立大学	9 名
準大学（防衛医大）	1 名
国公立大合計	84 名
道内私立大学（道内人数）	208 名
道外私立大学（道外人数）	90 名
私立大合計	298 名
短期大学	12 名
看護専門学校	23 名
専門学校	15 名
公務員/就職	9 名

大学名	人数	大学名	人数
北海道大	2名	千葉大	1名
旭川医科大	2名	金沢大	1名
小樽商科大	4名	信州大	1名
帯広畜産大	7名	東京海洋大	1名
道教育大	16名	釧路公立大	9名
室蘭工大	3名	千歳科技大	4名
弘前大	9名	札幌市立大	3名



新年度のスタートです！

校長 合 浦 英 則

公募制校長としての3年目がスタートしました。学びの質を変えることで学力を伸ばし、進路希望を実現させる学校にしていくことを目標とした「学びの3乗(三条)プラン」の遂行に日々取り組んでいるところで

す。さて、昨年度は外部人材を活用した探究的な学びを推進してきました。詳細は本校HP「CLASSプロジェクト」をご覧くださいと思いますが、今年度もより一層地域との協働を推進し、生徒の学力の向上に努めてまいります。

また、昨年度は生徒や保護者のみなさんの意向を踏まえて夏服ポロシャツの導入を決定しました。引き続き生徒・保護者の声を真摯にうけとめて学校経営にあたっていきます。

今年も引き続きコロナ感染症対策が求められます。生徒のみなさんには、できないことを嘆くのではなく、今できることに集中し成長を続けてほしいと思っています。保護者の皆様、今年度もどうかご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

三条フリスム

4月1日から新たに三条高校に加わった先生方を紹介します。三条高校に早く慣れて、それぞれの力を発揮していただきたいと思います。

新しく赴任された先生方から一言ご挨拶です



◆ 福田 敏憲 教頭
(公民)

白糠高校から異動して参りました。三条高校には以前12年間お世話になり、4年前まで勤務していたため、今回は2度目の着任となります。たった数年とはいえ、多くの先生方が入れ替わり、さらには様々な点で改革が進んでいると伺っております。私も初心に立ち返り、職責を

果たすよう努めたいと思います。

私の使命は、三条生の皆さんの高校生活が、これまで以上に素敵で充実するためのサポートをすること、そして伝統と栄光ある三条高校がますます輝きを放つために微力ながら力を尽くすことだと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



◆ 松岡 篤志 教諭
(書道・3年次担任・書道部)

「墨と遊ぶ」

雪もよいの駒ヶ峰（こまがね）の麓を後にして、狩勝トンネルを抜けると十勝野は馬耕の雨。これまで室蘭・札幌・江差・函館・森と10間口から1間口を経験してきましたが、いずれの学び舎も「坂の上の苦悶」。最後の任地となる本

校は、はじめてのひら地校。

深謀遠慮の術知らず、行き当たりはったりだけで生きてきたロートルの言い訳は「學於游」。だから「ボクとアソぼう」。

「吹雪する広き十勝野」の「凍て土」に不安を覚えつつ、十勝晴れのような出合いを期待しています。

4月1日から新たに三条高校に加わった先生方を紹介します。三条高校に早く慣れて、それぞれの力を発揮していただきたいと思います。

新しく赴任された先生方から一言ご挨拶です



◆ 伊澤 秀幸 教諭 (英語・1年次担任・ソフトボール部)

英語科の伊澤秀幸と申します。よろしくお願いします。東京で生まれて千葉県に転居し、40歳で北海道に移住しました。朝ドラと同じでラジオ講座で英語を学び、大学時代に1年弱の留学の機会が与えられ、学部卒業後は千葉県で3校、北海道で3校、計6校に勤務しました。そして15名程のALTのお世話をし、多くを学びました。本校ではソフトボール部の副顧問ですが、一昨年まで放送局を連続30年担当しました。楽器がケース内で永久冬眠中のためもう趣味とは言えませんが、中出阪蔵とか、ホセラミスIV世とか、これがヒントです。音楽やアナウンスと同じく、英語も音で表現して相手とつながります。大いに聞き読み書き話し、英語を身につけましょう。



◆ 永木 正彦 教諭 (理科・1年次担任・フィールドサイエンス部)

100年前、ドイツのハーバーとボッシュは化学反応を利用して、空気からアンモニアを合成し、食糧増産とダイナマイトの大量生産が可能になりました。ダイナマイトは土木工事に利用される一方、爆弾として戦争にも使用されます。発明も使い方次第なのです。

さて、私は理科（化学）を担当します。その魅力はなんといっても化学反応です。化学反応は物質どうしの反応ですが、どんな物質でも試験ビンの中に入っている状態では起こりません。物質と物質が出会うことで電子が出入りし、原子の組み替えが起こるのです。高校生活も多くの出会いが待っています。みなさん、たくさんの化学反応を起こし、学校生活を充実したものにしましょう。そして平和のために、科学を使える人になって活躍してください。



◆ 石田 良秋 教諭 (体育・1年次担任・女子バスケ部)

人生は希望と絶望の繰り返しです。私なんか、そんなひどい人生でもたいした人生でもないのに、そう思います。でも人には想像力があります。夢見る力があります。生きる力があります。明日を、これからを、どんなにひどい今日からだって、夢見ることができます。希望を持つのは、その人の自由です。

もうダメかと思うか、いや、いける先はきっと明るいと思うかはその人次第です。三条高生にはその力があると信じています。一緒に頑張っていけたらと思います。帯広柏葉高校に17年間勤務し、このたび帯広三条高校に赴任してきました。よろしくお願いします。



◆ 又木 紳一郎 教諭 (国語・3年次担任・卓球部)

こんにちは。音更高校から転勤してきた又木紳一郎です。本校での勤務は2度目となります。20年を経て戻ってきました。出身は鹿児島県。大学卒業後、石油会社に勤務しましたが、生命で行った阪神大震災救援活動を機に「教師になりたい」との夢を持ち、通信教育で教員免許状を取得。そして採用となったのが本校でした。私事です。足場が動くというスノースポーツは未知の体験でした。しかし宿泊研修（当時はスキー学習）やスキー大会引率で必要性を痛感。スクールに通って1級を取得、生涯の趣味となりました。資格はその後、更別農業で漢検準1級、音更高校で柔道初段が増えました。本校では国語科、3年次、卓球部でお世話になります。宜しくお願いします。



◆ 鳥井 晶子 教諭 (家庭・1年次担任・茶道部)

このたび、帯広農業高校から異動してまいりました。教科は家庭科を担当いたします。通勤路や校舎の窓から見える日高の山並みがとても美しく、幼い頃から日高山脈を見て育った私に、「よし、頑張ろう！」と思わせてくれます。帯広三条高校といえば、野球の全校応援が印象的

です。対戦相手として、応援席から見るそれは、とてつもない迫力で、いつも圧倒されていました。これから始まる三条高校生活でも、その生徒たちのパワーを間近で感じられるのだと、楽しい気持ちでいっぱい。生徒の皆さんが、充実した高校生活を送ることができるよう、少しでもお手伝いできたらと思います。よろしくお願いします。



◆ 小林 あかね 教諭 (国語・2年次担任・ハンドボール部)

今年度より赴任いたしました小林です。2年3組の担任で国語を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。前任校では多様性の中で大人も子供も学びが広がっていくことを勉強させていただきました。三条高校でも生徒や教職員のみなさん

と過ごす中でどのような学びがあるか、今からとても楽しみです。また、心に霧（もや）がある人がいましたら是非お話を聞かせてください。「心のゆらぎをどう乗り越えてきたか」が、その人らしさにつながります。心にあるものを言語化するお手伝いができれば幸いです。

私自身、不慣れなことも多々ありますので、みなさんに優しく教えていただきながら三条高校のために力を尽くしていきたいです。



4月1日から新たに三条高校に加わった先生方を紹介します。三条高校に早く慣れて、それぞれの力を発揮していただきたいと思います。

新しく赴任された先生方から一言ご挨拶です



◆ 山上 祥吾 教諭 (数学・1年次担任・サッカー部)

釧路管内の阿寒高校での9年間の勤務を経て、4月から帯広三条高校にやって参りました、山上祥吾（やまがみしょうご）といたします。専門教科は数学、部活はサッカー部、1年5組の担任を務めさせていただきます。できるだけ多くの生徒のみなさんや保護者、地域の方々と積極的に関わりながら（巻き込みながら？）教育に携わっていきたいと思います。また、生徒のみなさんと、ともに学び、ともに成長できるような教師でありたいと考えています。一緒に楽しく学びましょう！十勝での生活は初めてで、いろいろ不安なこともあります。精一杯努力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◆ 小竹 由太 教諭 (英語・3年次担任・男子バスケット部)

この度、音更高校から来ました小竹由太です。教員生活も9年目を迎え、帯広三条高校は3つ目の勤務校になります。教科は英語、部活動は男子バスケットボールを担当します。異動の度に、学校の規模が倍になっていき、人の多さに戸惑うばかり・・・どうしよう。

さて、自分の進路選択がその後の人生の分岐点になることはよくあります。僕の場合、高校卒業後の選択がその一歩目でした。大学では社会言語学と中国語を専攻し、アメリカでの生活も少々。その後、大学院で英語教育について想像以上のことを学び、この仕事にたどり着きました。

言語学習は、“Life-long learning”です。三条での学びが、皆さんの次のステージへの橋渡しになるように、下支えさせていただきます。共に、楽しく、学びましょう。



◆ 米谷 正樹 教諭 (英語・2年次担任・野球部)

新任の米谷正樹（ヨシタ マサキ）と申します。担当学年は2年でクラスは6組、教科は英語、部活動は野球部です。年齢は44歳です。室蘭工業大学（応用化学）で約2年、専門学校で2年、日本大学（英文学）で2年間学び、その間に民間企業を20年程経験して参りました。出身は道南の函館市です。帯広という地は人生初めての経験でして、赴任の日が来るのを楽しみにしておりました。同時に、その最初の赴任校が伝統ある三条高校ということで、身が引き締まる思いでもあります。1日も早く環境に慣れ、皆さんのお役に立てるよう努力を致します。お手を煩わせる場合あると思いますが、何卒よろしくお願いいたします。



◆ 金谷 純一 事務長

今年度帯広工業高校より赴任して参りました事務長の金谷です。

昭和60年3月に卒業して以来、久しぶりにこの校舎に通うこととなりました。まだ数日しか通っていませんが、学生の頃は自転車だった通学方法が、自家用車での通勤になり、重たい体により一層重くなっています。学生時代にはなかった第二体育館があり、グラウンドの配置も変わっていて若干の違和感も感じますが、早く慣れて頑張っていきたいと思っています。明るい事務室の雰囲気大切に業務を進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



◆ 永田 麻理亜 事務職員

4月から新しく事務職員として採用されました、永田 麻理亜（ナガタ マリア）です。初めての勤務地が三条高校という大きな学校でとても緊張しております。そして私は、昨年度の3月に高校を卒業したばかりで慣れないことの方が多く、まだまだ未熟だとは思いますが、生徒の皆さんや教職員の皆さんのお役に立てるように精一杯頑張りたいと思います。また、気軽に声をかけてくださると嬉しいです。これからどうぞよろしくお願いいたします。

